

# がそんなに面倒ですか？

## シートベルトはあなたの“命綱”です



シートベルトをつけて安全運転を

あなたは車に乗る時に、シートベルトを締めていますか？「面倒くさいから」「カッコ悪いから」と、敬遠してはいませんか？でも、命を守るのに何をためらうのでしょうか。シートベルトは、車に乗る人にとつての“命綱”——しかし、着用しているのは10人中3人にも満たない状況です。「自動車乗用中の死者の98%が、シートベルトをしていなかった」（警察庁調査）という結果を、あなたはどう考えますか——。

### もう一度見直そう

#### シートベルトの効果

「崖から転落して、車が3回転して逆さまに止まった時は、宙ぶりの状態でした。でも、シートベルトをしていたためにほとんど衝撃がなく、肩にかすり傷を負っただけ。生きていたのが信じられません」——シートベルトを締めていたおかげで、命が助かったほんの一例です。右下の表をご覧ください。シ

シートベルトの着用効果は、私たちが考えている以上にあるのです。ただし、これは着用しての話——「あの時にシートベルトを締めていれば……」というケースの方がずっと多いのです。

### 事故にあつてからでは遅いのです！

警察庁の調査では、昨年の4輪車乗用車の死亡者3,487人のうち、98%がシートベルトをしていませんでした。そして、

## シートベルトの着用効果

### I. 事故発生時の乗員保護効果

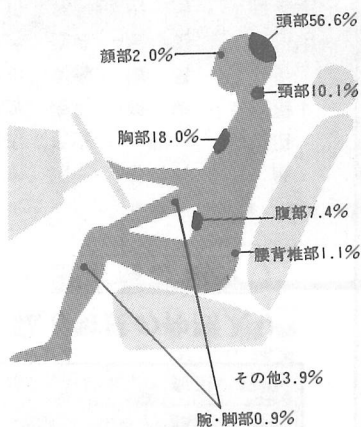
- ▷ 衝突事故で、フロントガラスや車内の突起物に、頭部や胸部を強打するのを防ぎます。シートベルトを着用しているか否かが、しばしば生死を分ける結果となります。
- ▷ 激突時のショックで起こる、車外放出を防ぎます。また転落時には、ショックで気絶したり負傷したりすることを防ぎ、自力で脱出しやすくなります。

### II. 事故を防止する効果

- ▷ 運転姿勢が正しく保たれ、視野が拡大し、ハンドル操作が確実になります。
- ▷ シートベルト着用により、腰や上半身が安定し、注意力が集中するため、未着用の場合に比べて疲労度が20%も減少します。
- ▷ 気持ちにゆとりを持たせ、安全意識も向上し、事故防止に役立ちます。



### 4輪車死亡者の損傷部位



これら死亡者の致命傷となつたのは、頭部が最も多く（約6割）次いで胸部・頸部と続きます。シートベルトは、これらの部位の損傷防止に極めて効果的です。シートベルトを締めていれば、死亡した人の6割以上が助かったであろうということです。

### わかってはいるけど着用しない(？)

シートベルトは、「安全へのパスポート」——事故にあつてからでは遅いのです。運転免許を持つていないにもかかわらず、10人中8人までが、交通事故の場合のシートベルトの効果について、死傷者を少なくするのに「役立つ」と答えています。(総理府・世論調査)しかし、その反面、シートベルトの着用率は極めて低く、10